

Full Speed

月刊SNSレポート 2020年07月号

Monthly **SNS** Report Vol.012



トピック

03 Facebook

04 Twitter

05 Instagram

06 LINE

06 フルスピード事例紹介

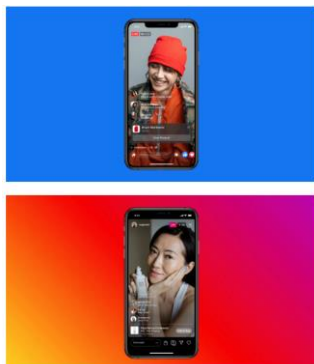
【Facebook】Facebookショップが日本でもローンチ！

トピックス

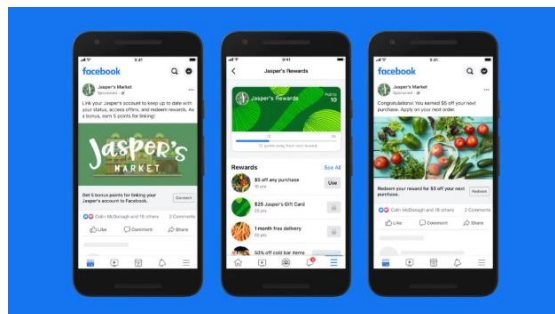
2020年6月16日より、Facebook上の事業者向けのオンラインショップ機能、Facebookショップが日本国内での提供が開始されました。今後数か月をかけて提供範囲が拡充される見通しですが、「withコロナ」のマーケティング市場においてFacebookはECプラットフォームとして今後強化されていくと考えられます。

Facebookショップの詳細な機能って？

▶ライブショッピング機能



▶ロイヤリティプログラムとの連携



参考：<https://about.fb.com/ja/news/2020/06/introducing-facebook-shops/>

Facebookショップの主要な機能の1つ、「ライブショッピング機能」では、ライブ配信前にFacebookショップ上のカタログから商品をタグ付けすると、画面下部に商品が表示される仕組みになっています。ユーザーは表示された商品をタップして簡単に詳細を確認したり、購入することができます。この機能は現在FacebookおよびInstagram上でテストをしており、今後数か月以内に広く展開していく予定とのことです。

2つ目は「ロイヤリティプログラムとの連携」です。この機能ではFacebookショップを開設している事業を利用した場合、ポイントや特典などがFBアカウントと紐づけられる仕組みになっています。ユーザーは簡単に自分が獲得したポイントや特典を確認することができます。

Facebook社は今年の夏にInstagramショップの機能の導入も予定しています。

新型コロナウイルスの打破策として更新されたこれらの機能は「**より早く**」「**より密接に**」ユーザーと企業のコミュニケーションを高めていくと考えられます。

SNS上のECプラットフォームが浸透し一般的になれば、**ユーザーにとってSNSは認知からCVまで全ての購買行動ができる場所になり得る**でしょう…。今後の動向から目が離せません！

(SNSコンサルタント：桃城)

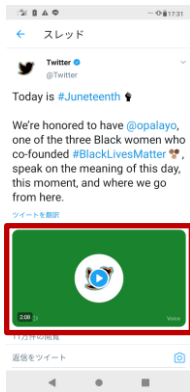
【Twitter】140秒の音声ツイート機能が実装！！

トピックス

6月中旬に「音声ツイート機能」が実装されました。

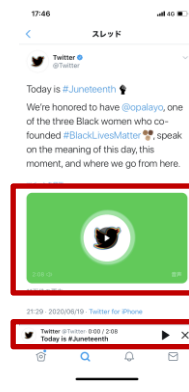
iOS端末の一部のアカウントのみ投稿可能です。音声は、一部端末でのみバックグラウンドで再生ができます。近年、「ながら聞き」の需要が高まっているため、今後、ユーザーにメッセージを伝える有効なアプローチ手法となることが期待できます。

バックグラウンド再生は現状iOS版でのみ可能



Android

Android版では動画扱いになってしまい、BG再生ができません。WEB上でも同様です。



iOS

iOS版で再生すると、下に再生バーが表示されて、タイムライン上や、アプリ外でもBG再生されます。

参考：<https://twitter.com/Twitter>

今回のアップデートにより、音声をその場で録音してツイートすることのできる「音声ツイート」機能が追加されました。ツイートした音声は、タイムラインをスクロールしたり、ほかのアプリに切り替えても再生できる、「バックグラウンド再生」が可能です。

音声ツイートの注意点（6/23現在）

- ・iOS版Twitterから、一部のアカウントのみ投稿可能
- ・投稿画面で録音した音声のみ投稿可能
- ・最長140秒、超えた場合は続きがスレッド投稿になる
- ・リプライ機能には使用不可

現状この機能は企業アカウントを運用する上で、使い道を見出すのは難しいと言わざるを得ないです。しかし、音声投稿という機能自体は、音楽関連のアカウント等と相性が良いですし、バックグラウンド再生自体は、移動中や他の作業中のユーザーにも利用してもらえるため、将来性があります。

Twitterは現在、この機能を「初期テスト」としていて、今後、アップデートがあるかもしれません。

弊社、FullSpeedではそういった最新情報を皆さんにお届けしていますので、続報をお待ちください！

(SNSコンサルタント：尾中)

【Instagram】スパムアカウントによるタグ付けが蔓延

トピックス

6月はスパムアカウントによるタグ付けが蔓延しました。

ほとんどの場合がスパムアカウントトップからアダルトサイトに遷移を促すパターンです。タグ付けされると自分のプロフィール欄のタグ付け投稿一覧にも表示されてしまいますので、該当の投稿から自アカウントのタグを削除する必要があります。

スパムからのタグ付けを防ぐ方法とは

▶自分のタグ付けを削除する



企業のSNSアカウントがスパムアカウントにタグ付けされていると、ブランドイメージの低下に関わりますので、見つけ次第早急に対処しましょう！

万が一ご自身のアカウントがすばむあかうんとにタグ付けされた場合、下記の手順をお試してください。

▶自アカウントのタグ付けを削除する方法

- ①スパム投稿のページ右上にあるメニューボタンをタップ
- ②「投稿オプション」をタップ
- ③「投稿から自分を削除」をタップ

▶フォロー外のアカウントにタグ付けされないようにする方法

- ①プロフィール画面の右上の設定ボタンをタップ
- ②「プライバシー設定」をタップ
- ③「タグ」をタップ
- ④「タグを許可する人」で「フォローしている人」もしくは「誰にも許可しない」にチェック

(SNSコンサルタント：桃城)

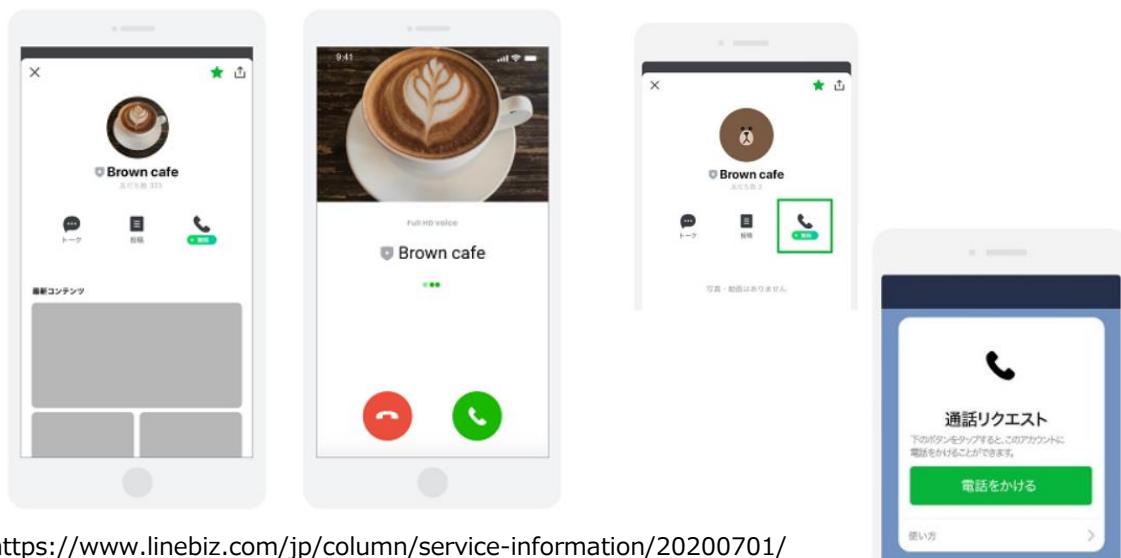
【LINE】LINE公式アカウントに新サービス“LINEコール”が登場！

トピックス

7月2日に新たなサービス“LINEコール”が公開されました。

本機能の特徴としては、通常のLINEアカウント同士のような通話が一般ユーザーとLINE公式アカウントの間で可能になることです。

現段階では「LINE公式アカウント管理アプリ」のみ通話に対応



参考： <https://www.linebiz.com/jp/column/service-information/20200701/>

LINE公式アカウントにて、一般ユーザーとの通話によるコミュニケーションを図れる新機能が登場しました。昨今の新しい生活様式において様々な企業様がLINE公式アカウントを活用しておりますが、そうした背景の中で企業と顧客がより円滑にコミュニケーションを図るためのサービスです。

本機能は応答モードがチャットモード時（ユーザーに手動でメッセージを送信できる状態）でのみ使用可能で、Botモード（個別のチャットができない状態）では使用できません。そのため、**LINE上で顧客とコミュニケーションを取る店舗アカウントとの相性が良い**機能だと考えられます。

LINEコールでは、「ユーザーがいつでも通話できる状態」と「必要に応じて通話できるようにする状態」を設定することが可能です。LINE公式アカウントを固定電話のように使うことや、チャットでのお客様とのやり取りでより細かいニュアンスを伝えたいときに活用できますね◎

非接触型のユーザーコミュニケーションツールとして、現在LINE公式アカウントが非常に注目されています。店舗を所有するLINEアカウントでは、ぜひLINEコールをご活用ください。

（SNSコンサルタント：佐沼）

【Instagram】写真の構図は「小物使い」がカギ！（某食品業界）

トピックス

Instagramの画像撮影時において重要な、
「小物使い」を1枚目の画像に取り入れたところ、反応数と流入数が
ともに増加しました！

	変更前		変更後
平均いいね数	61件	⇒	82件
ハッシュタグからの流入合計	44件	⇒	1,613件

小物を使って世界観を演出していくことが有効

コンサル前



いいね！32件
2018年4月27日

単体で真上からの構図で
撮影したお弁当（いいね32件）

コンサル後



いいね！77件
2018年11月26日

小物を添えて俯瞰視点から
撮影したお弁当（いいね77件）

対象アカウントは食品関連のアカウント。お弁当や野菜などの商品の画像を単体で撮影した画像を使用することが多いアカウントでした。平均いいね数61件、ハッシュタグからの合計流入数44件と、投稿の反応数と流入数に伸び悩んでいました。

そこで、画像撮影の構図に関して、上記の小物を使った撮影方法を提案させていただきました。

Instagramと親和性の高い構図の画像投稿をするようになったことによって、平均いいね数82件、ハッシュタグからの合計流入数1,613件と**大幅増加**という結果になりました！

メインの被写体に「小物」を添えて、全体を撮影するといった構図の画像の反応率が高くなるという傾向があります。今回ご紹介した例では、メインの被写体だけでは伝わりきらない「自然らしさ」「素材感」を小物によって伝えることに成功しております。小物によってビジュアル面での世界観を補足しているんですね◎

画像がなかなか見てもらえない・反応が伸び悩んでいる・といった場合は、「小物使い」に着目して写真撮影をしてみてはいかがでしょうか。

（SNSコンサルタント：尾中）

【ムック掲載！】リモートワーク中の運動不足にご用心（note）

トピックス

弊社スポーツマーケティンググループが更新中のnote記事が
マイナビ出版様『いますぐ！超実践テレワーク』に掲載されました！
スポーツマーケティンググループは、SNSを軸にスポーツ業界の活性化を
図ることをミッションとしたチームです。
スポーツnoteの“中の人”の1人である「いの」は、私たちソーシャルメディア
マーケティング部のメンバーでもあるんですよ♪

コロナ禍における運動不足解消を目的にしたコンテンツがムックに掲載！

▼雑誌掲載となったnote記事はこちら <https://note.com/fullsports/n/ne54c7f55fae5>



リモートワークのメリットって？家トレ!?

スポーツマーケティンググループnoteアカウントはこちら⇒ <https://note.com/fullsports>

ストレッチが与える効果

ストレッチをすることで身体にかかる負担を軽減出来たり、なんとなくスッキリした気分になったりとストレッチをするようになってから良い影響を感じています。

ストレッチボールの上でアイデアが思い浮かぶことも...

（PCの置いてあるデスクがすぐ脇にあるからすぐPCに打ち込めるというメリット...!）

あとは、どんなトレーニングをしているかなどMTGのアイスブレイクにも使えます。（このnoteもそんなアイスブレイクから執筆が決まりました）

運動不足解消に、ぜひやってみてくださいね！

text：猪野 編集：古牧

当社のスポーツマーケティンググループでは、noteを活用した情報発信を行っております！
投稿は「SNS×スポーツ」を中心に構成されており、スポーツ系SNSキャンペーンの事例紹介や、
スポーツ業界におけるSNS活用の基礎知識、スポーツ選手へのインタビュー記事など
多岐にわたるコンテンツを発信中です！

今回ムックに掲載された記事もnoteにて絶賛公開中です。引き続きテレワークを実施されている
企業様も多いかと思いますので、ぜひ「家トレ」をお試してください！

スポーツマーケティンググループは「**スポーツファンの定着化**」をミッションに掲げ、
クラウドファンディングやファンコミュニティの確立、スポンサーアクティベーションなど
様々なサービスをローンチし、SNSを中心にデジタルを活用したスポーツへの接触機会増加を
ご提案しております。

（SNSコンサルタント：佐沼）

月刊SNSレポート 2020年7月号
Monthly SNS Report Vol.012

ご不明点などございましたら

マーケティングコンサルティング事業部

**ソーシャルメディアマーケティング部ま
で！**

Mail : s-consul@fullspeed.co.jp



03-5728-4460

受付時間 10:00 ~ 19:00(土日祝日除く)



お問合せはこちら





Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”